

2025年度

おすすめの本

中学年3・4年生向き

『あるひくじらがやってきた』(小学館)



ニック・ブランド/作 なかがわ ちひろ/訳

ある時、海からくじらがやってきて、まちの人たちは大混乱! プールで遊んだり、魚を食べつくしたり、好き放題のくじらを人々は追い出そうとするが、実は海にいられない理由があって…。ユーモア×SDGsの絵本。

『バスが来ましたよ』(アリス館)



由美村 嬉々/文 松本 春野/絵

目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。温かな小さい手が人々の心を突き動かした、実話をもとにした絵本。

『こども武士道 自分に負けないこころをみがく!』(日本図書センター)



齋藤 孝/監修

弱い自分を強くするには? ピンチを乗りこえていくには? 人とよい関係をつくるには? 困難にくじけないで強く生きる ための知恵がつまっている本、「武士道」をこども向けに 超訳。イラストを交えてわかりやすく紹介する。

『すごいゴミのはなし ゴミ清掃員、10年間やってみた。』(学研プラス)



滝沢 秀一/文 スケラッコ/イラスト 萩原 まお/イラスト

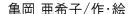
今、ゴミをめぐる課題が山積みになっている。どうしたらその課題を解決できるのか? 現役ゴミ清掃員でお笑い芸人でもある著者が、ゴミについて楽しく紹介する。身近なゴミから、地球の未来を考えよう。

『お蚕さんから糸と綿と』(アリス館)

大西 暢夫/著

糸や綿は、命あるものから生まれ、多くの人の手をへて、 ここにある-。滋賀県でただ一軒、「お蚕さん」を育ててい る養蚕農家、近所に暮らす糸とり名人、繭むき名人の仕 事を写真で紹介。「お蚕さん」の大切さを伝える。

『さいこうのスパイス』(PHP研究所)





どんな料理を食べても「まずい」というリスのぼっちゃんの ために、おいしい料理を作って欲しいとたのまれたオオカ ミのシェフ。毎日おいしい料理を作っても、ぼっちゃんは 「まずい」としか言わなくて…。

『坂の上のパン屋さん』(文研出版)



尾崎 美紀/作 たかおか ゆみこ/絵

翔太はパンが大好き。学校の帰り道に「食パントウジロ ウ」という店を見つけた。店には「本日売り切れ」の紙切れ が張られている。夏休みの日の朝、翔太が店に行ってみ ると、そこではおじいさんがひとりで作業をしていて…。

『タヌキの土居くん』(福音館書店)



富安 陽子/作 大島 妙子/画

ここは、さんかく山のふもとの小さな小学校。4月の新学期 がはじまった月曜の朝、3年生のアカネちゃんが一番のり めざして教室に入ろうとすると、となりの席には…。のび のび明るく、あっとおどろく、楽しいお話。

『4年2組がやってきた』(くもん出版)



野村 一秋/作 ささき みお/絵

脳性まひのマーくんしかいないクラスに、4年2組の生徒た ちが来ることになり、マーくんとの交流がはじまりました。 授業参観日に、マーくんと2組のみんながいっしょに、ゲー ムと音楽をすることになり…。

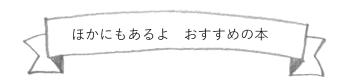
『ぼくはくまですよ』(大日本図書)



フランク・タシュリン/文・絵 小宮 由/訳

くまが冬眠から目を覚ますと、そこは工場の中。工場の主 任が、「おい、そこのおまえ、仕事はどうした!」と怒鳴りま す。「仕事ってなんです? ぼくはくまですよ」と、くまは答え ますが…。笑って、少しドキリとするお話。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。



『みずとはなんじゃ?』

かこ さとし/作 鈴木 まもる/絵 (小峰書店)

『もしも宇宙でくらしたら』 山本 省三/作 村川 恭介/監修 (WAVE出版)

『のんきなりゅう』

ケネス・グレアム/作 インガ・ムーア/絵 中川 千尋/訳 (徳間書店)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください